

第十二回てづくり市

（和文化和愉しもう）

日時 四月十五日（日）

午前十時～午後三時半まで

（雨天決行）

会場 法福寺境内

当日の催し

〔Food & Zakka〕

手作りパンと焼き菓子（Mint）

スコーンなどの焼き菓子（晴々）

手打ち蕎麦（味の丈庵）

ピーガンとオーガニックご飯（麦カフェ）

お茶販売（日比野製茶）

オルグナイト、パワーストンプレス販売（月のうさぎ）

手作り布小物販売（もんちゃん）

リフレクソロジーなど（にっこり）

布小物、バッグ（たあたん）

洋服、バッグ（モリアザミ）

布製品、アクセサリ、ドライフラワーリース、

スワッグなど（あとあ）

木のカタラリーなど（木香kiko）

七宝焼、銀粘土アクセサリ（SY工房）

つまみ細工アクセサリ（ユギン&shimaen）

手作り雑貨器、焼き菓子（Hobbyia）

ガラス販売（手づくりガラス）

陶器、バッグ、小物など（Withasmile）

手作りこんにゃく、お野菜など（法福寺SHOP）



〔ワークショップ〕

SY工房さんによる七宝焼アクセサリ作り

自分好みのアクセサリ作りをしてみませんか？

小さなお子さまから体験することができます。

料金 五百円～千円

〔和文化和愉しむイベント〕

子どもお茶会

本格的なお茶室でのお茶会です。簡単なお

作法を学べます。（大人も参加可）

時間 午前 十時～、十一時～

午後 一時半～、二時半～

（各席八名ずつ）

場所 初音庵（法福寺お茶室）

料金 一服（お抹茶と季節の生菓子）

子ども四百円 大人五百円

お茶挽き体験

日比野製茶さんによるお茶挽きを体験できま

す。挽きたてのお抹茶の香りをぜひ体験ください。

〔昔からの遊び体験コーナー〕

将棋・動物将棋・折り紙など

将棋を始めませんか？初めての方でも挑戦

してみてください。小さいお子さまは動物将棋で

楽しめますよ。折り紙も簡単なものから難しいも

のまで挑戦できます。皆さまで参加ください！

場所 法福寺二階

5月

法福寺新緑茶会

日時 五月二十七日（日）

午前十一時～午後三時

広間席 有楽流洗心庵社中

ガテ席 中国茶 梅村真夕美

お茶券 一五〇〇円（二席分）

お点心 一五〇〇円



毎年恒例のお茶会です。

新緑美しい山寺での一服は

格別です。御友人との会話

を楽しみながら気軽にご

参加していただけます。

＊三日前までの予約制です。当日の申し込みは承りかねます。

6月

法福寺境内のあじさい

期間 六月中旬から七月上旬

当山境内には沢山の変わった種類のあじさい

が沢山植えられています。広い境内のいたる

ところに植えられています。

ますので、宝探し感覚

でお気に入りの品種

を探してみください。

境内散策の後は、風

庵で美味しい珈琲や

ぜんざいをどうぞ。



＊行事のご報告

お正月

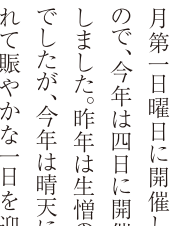
一月一日（月祝）



今年は元旦から晴天に恵まれ良いお正月になりました。各家の一年間の無事と円満を願い御祈願させて頂きました。

節分祭

二月四日（日）



法福寺の節分祭は毎年二月第一日曜日に開催します。今年も四月に開催いたしました。昨年は生憎の天候でしたが、今年も晴天に恵まれて賑やかな一日を迎える事が出来ました。浅野健司各務原市長にも市民の健康を願って、一番最初の座からご参拝頂きました。人々の役割が人工知能に取って代わる世の中において、目に見えない仏様との繋がりの大切さを、皆様が改めて感じているのではないかと思います。これからも世の中すべての人々の健康と幸せを願って、ご祈願させて頂きます。



—お寺のある暮らし— 風だより

Vol.135

法福寺季刊広報誌「風だより」
2018年3月30日発行
通巻135号2018年春季号
高野山真言宗・法福寺
法福寺企画広報
TEL058-384-3510
岐阜県各務原市各務車洞6799-3



若葉の
眩しさに、
新しい
季節を
愛おしむ。



先人たちの暮らし方と日本の文化

日本人の暮らし方と西洋人のそれを比べてみると、さまざまな違いが見出されます。その違いを一口で云えば、自然に対峙して生きようとする西洋人に対して、日本人の暮らし方は自然の中にそれを求めようとする、つまり自然に融合する生き方ということができましよう。そうした古人の知恵は、先人たちの暮らしの中に多く見出されます。

地域の暮らし方において、人々の住まいする場所を（里）といい、そこから（野



良（へ野辺（へ里山（へ奥山）というように自然界に暮らす他の生きもののかかわりを少しづつ使い分けているのですが、それも自然との共生を心掛けた人々の優しさと言えそうです。

家の暮らし方においてもさまざまな点で自然との融合が見て取れます。たとえば日本庭園の多くは座敷の庭として作られています。座敷に座って平行な視線で庭を見るとき、見る者自身も庭の一員としてとけこみ、その深まりや共感の中に一体を感じ取るのが日本的な情緒でありましよう。幾何学的に確立され

も大きな影響を及ぼしてき偉大な人物であります。彼は大自然の中に神秘を感じ得ましたが、その神秘性こそが（日本の美）であるともいえましよう。

空海にとって風雅とは、自然を友とするあらゆる技術でありましたが、そのあらゆる技術とは、文字表現であり、道具であり、美と寂を表現する技ということになります。風雅は技術を伴い、技術に裏打ちされてこそ美しく輝きだすのです。

日本の美とは風雅であり自然を友とするが自然そのものではないのです。自然を友とする技（わざ）に他ならないのです。日本の風景の美しさは、いかに人が自然に手をかけたのかという結果の美しさなのです。「手をかける」とは単なる管理ではありません。先人たちはそれを「手

―玄関―玄妙な道に入る関門

入れ」と呼びならわしました。その「手入れ」とは、管理どころか慈しみの心に満たされ技であり、それを日本の美と感受したのでましよう。

家とは人間の棲み屋のことを云います。当然のことながら家には入口があります。私たち日本人は古くからそれを「玄関」と呼びならわしてきました。では、何故それは入口ではなく玄関なのでましようか。

『広辞苑』によると、玄関とは「玄妙な道に入る関門、正面入口の式台のある所、転じて一般に建物の正面に設けた出入口」と説明されています。

た西洋の造形美が恒久を表わすのに対し、日本の非対称な造園美は（うつろい）を表わしています。日本人の精神性は、移ろいゆく今にも壊れそうな華奢な生の中に至高の美を感じてやまないのましよう。その移ろうさまを「風」になぞらえて、「風流」「風景」「風雅」「風土」「風合い」などの言葉も生み出されています。

まことに日本文化の特徴とは、移ろいや儚さへの慕情の中にこそあると云ってもいいかもしれません。

「茶の湯の美」として七つの特性が挙げられています。「不均斉」、「簡素」、「枯高」、「自然」、「幽玄」、「脱俗」、「静寂」であります。茶の湯の美の本質とはそれらの融合にあるといふのです。中国からの伝来である茶文化は、日本の茶人たちの美的感性によって独自の発展を遂げましたが、その情緒性は近世以降の日本人の暮らし方にも少なからぬ影響を及ぼしてきました。フジャイルな日本美は茶の文化とともに完成されていったといっても過言ではないでましよう。

更に歴史を遡って、平安時代から今日に至るまで「弘法さま」「お大師さま」として慕われてきた空海上人は、高野山という信仰と修行の道場を開かれた真言密教の祖師であります。宗教的な活動のみならず（日本文化の父（平安の三筆）と称えられるように日本文化全体に

それでは、「玄妙な道」とはいったいどのような道なのでましようか。再び広辞苑を引くと「玄妙」とは、「幽玄で微妙なこと」と解説されています。「幽玄で微妙なこと」などと云われてもますます解せませんね。たしかに幽玄・幽界という言葉は（お能）などにもたびたび使われる語ではあります。幽冥界はあの世、顕界はこの世を指しているのだから神秘世界のことを云っているには違いないでましよう。

さて、玄関すなわち、玄妙な道、幽玄で微妙な道への関門とは、平たく言えばこの世とあの世をつなぐ微妙な世界を言いあらわしているということになってまいます。関門をくぐり玄妙な空間にある家、その家に暮らすといふことは、まさにあの世とこの世の人々が同居する場といふことになります。つまり、日本人にとつての「家」とは、ご先祖と私たちが時空を共にしている場なのです。それは言い換えれば聖なる空間であり、神秘の場ということでもできましよう。

考えてみれば、つい数十年前までの私たち日本人の暮らしでは、人が生まれるのも家であり、人が死ぬのも家でありました。人々はご先祖とともに家に暮らし、ご先祖への感謝と報恩としての祀りごとの場としての家を大切に護ってきたのです。神棚を設けるのも、ご先祖を祀る仏壇を安置するのも家の中でありました。日々の暮らしも子供を育てる場も家であります。家とは、安息の場であると同時に、神秘世界と人々を繋ぐ聖なる空間でもあったのです。

* 住職の報告

十二月十日（日）～十一日（月）

岐阜県真言青年会研修旅行

岐阜県真言青年会の研修で東京・深川不動尊（成田山東京別院）、高野山東京別院へ参拝してきました。深川不動尊ではご祈祷に参拝させて頂きましたが、平日にも関わらず、お堂一杯の参拝者と迫力のご祈祷に圧倒されました。東京に人・金・情報が集まってきたる事を実感しました。地方でどうやってこれから生き残っていくかを青年僧侶で考える良い機会になりました。



十二月十日（日）～十一日（月）

中津川市付知町・寶心寺

恵比寿大祭出仕

毎年恒例の寶心寺様の恵比寿大祭に今年もお参りさせて頂くことが出来ました。町中挙げてのお祭りで住職の人柄とご本尊様のご利益を求めて一日中参拝客が絶えまませんでした。



二月十一日（日）

幼児教室コベルオーナー連絡会

東京品川グース

幼児教室コベルのオーナー連絡会が開催されました。私が岐阜地区本部の代理店契約を締結させて頂いたのが平成二十三年の秋でした。当時は全国で十三番目の教室でしたが、七年経った今では全国七十一教室までになりました。また今年から中国上海市への出店も決まりました。「こどもの可能性は無限大」のキャッチフレーズに惹かれ、代表の教育方針に共感して、岐阜地区本部のご縁を頂戴しました。コベルを卒業した子供達が、世界中に溢れ、笑顔がやく幸福な未来を創造してくれることを願っております。

住職スケジュール*

3月21日	春のお彼岸法要／法福寺
4月4日	関信用金庫新入社員研修／法福寺
4月15日	第11回てつくり市／法福寺
4月16日	（横樋口製作所新入社員研修／法福寺
4月17日	日龍峰寺大般若法要 出仕／関市 日龍峰寺
4月18日～19日	（株）中日研修センター研修／法福寺
4月29日	各務仏教会花まつり法要出仕／
5月5日	宝泉院柴灯護摩法要 出仕／岐阜市 宝泉院
5月27日	延算寺春季法要 出仕／岐阜市 延算寺
5月27日	眞長寺春季法要 出仕／岐阜市 眞長寺
6月17日	新緑茶会／法福寺
6月24日	（ペット霊園）愛の森「春の物故動物慰霊祭導師／（ペット霊園）愛の森
6月24日	三光寺柴燈護摩法要出仕
6月26日～27日	／山県市美山町 三光寺
6月26日～27日	高野山真言宗東海地区教師研修会／三重県